



# 平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 株式会社 T Y K  
 コード番号 5363 URL <http://www.tyk.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 牛込 伸隆  
 (氏名) 北原 譲  
 TEL 0572-22-8151

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	6,626	19.2	992	41.0	1,082	28.4	625	18.0
30年3月期第1四半期	5,561	13.5	704	66.6	842	304.2	530	

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 553百万円 (44.4%) 30年3月期第1四半期 995百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	14.03	
30年3月期第1四半期	11.89	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	40,723	30,492	67.0	611.08
30年3月期	39,740	30,219	68.1	606.51

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 27,270百万円 30年3月期 27,066百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		3.00		5.00	8.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		3.00		3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,880	6.1	1,330	6.9	1,480	1.9	830	5.8	18.60
通期	23,750	4.7	2,650	0.7	2,950	0.3	1,650	6.8	36.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	45,477,000 株	30年3月期	45,477,000 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

31年3月期1Q	850,311 株	30年3月期	850,250 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期1Q	44,626,700 株	30年3月期1Q	44,626,991 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記述されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料2ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、慢性的な人手不足の状態を抱えつつも、政府及び日銀が推進する経済・財政政策や、東京五輪関連需要が引き続き堅調であることから、企業業績の回復が続いております。一方海外においては、米国を中心に景気は引き続き底堅く推移しているものの、依然として米国現政権の保護主義的政策や、中東・朝鮮半島情勢等の懸念材料を抱えた不透明な状況で推移しました。

当社グループの主要取引先であります国内鉄鋼業界におきましては、当第1四半期連結累計期間における粗鋼生産量は前第1四半期連結累計期間比1.8%増の2,657万トンと比較的順調に推移しました。このような環境のもと、当社グループは品質第一の考えをもとに売上増加と生産性向上に全力で取り組んでまいりました。主力製品である製鋼用耐火物をはじめ、ファインセラミックス等の先端素材技術や環境創造技術へ挑戦し、コスト削減など経営合理化を進めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間においては、次の通りの経営成績となりました。

売上高は、主要顧客であります製鋼メーカー向け耐火煉瓦及び不定形耐火物等の堅調な売上に支えられ、また新素材関連商品の売上増もあり66億26百万円（前年同期比19.2%増）となりました。

利益面では、売上増に伴い固定費負担が相対的に低下し採算性が向上したことで、原材料費を中心とした調達コストの増加がみられたものの、売上原価は前年同期比で7億18百万円の増加にとどまり、販売費及び一般管理費についても同様に前年同期比で58百万円の増加にとどまったことから、営業利益は9億92百万円（前年同期比41.0%増）となりました。

経常利益は、主に保有する有価証券の配当金が増加したことにより、受取利息配当金が前年同期比で11百万円増加し、一方為替に関しては円高傾向であったため、為替差損16百万円（前第1四半期累計期間は為替差益43百万円）を計上したことで、経常利益は10億82百万円（前年同期比28.4%増）となりました。

また親会社株主に帰属する四半期純利益は、6億25百万円（前年同期比18.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

## ①日本

国内の売上高は51億57百万円（前年同期比23.9%増）となりました。また、セグメント利益は9億97百万円（前年同期比54.2%増）となりました。

国内顧客向け販売は、耐火物業界全般に引き合いの強い状態が続いており、そのため当社の販売量・販売価格共に堅調に推移しております。

## ②北米

北米の売上高は5億83百万円（前年同期比10.0%増）となりました。また、セグメント利益は25百万円（前年同期は2百万円の損失）となりました。

米国景気は引き続き堅調に推移しており、顧客からの引き合いが多く売上・利益ともに改善しております。

## ③ヨーロッパ

ヨーロッパの売上高は6億93百万円（前年同期比9.7%増）となりました。また、セグメント利益は1億円（前年同期比152.4%増）となりました。

引き続き販売好調で、販売構成の変化により採算性が改善したことで、売上・利益ともに改善しております。

## ④アジア

アジアの売上高は1億30百万円（前年同期比2.2%増）となりました。また、セグメント損失は1百万円（前年同期は11百万円の利益）となりました。

販売は微増となりましたが、修繕費等の発生により利益は減少しております。

## ⑤その他

その他の売上高は61百万円（前年同期比43.6%減）となりました。また、セグメント利益は40百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

販売は減少しておりますが、販売構成の変化等により利益は増加しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (流動資産)

流動資産の残高は前連結会計年度末に比べ6億28百万円増加し、236億23百万円となりました。その主な要因は受取手形及び売掛金の増加（8億73百万円）によるものであります。

## (固定資産)

固定資産の残高は前連結会計年度末に比べ3億54百万円増加し、171億円となりました。その主な要因は、その他に含まれる建設仮勘定の増加（2億79百万円）によるものであります。

(負債)

負債の残高は前連結会計年度末に比べ7億10百万円増加し、102億31百万円となりました。その主な要因は、賞与引当金の増加(3億30百万円)、支払手形及び買掛金の増加(2億45百万円)によるものであります。

(純資産)

純資産の残高は前連結会計年度末に比べ2億73百万円増加し、304億92百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加(4億2百万円)及びその他有価証券評価差額金の減少(1億96百万円)によるものであります。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、平成30年5月18日に公表いたしました平成30年3月期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成30年8月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,764,110	8,007,875
受取手形及び売掛金	7,517,035	8,390,749
製品及び外注品	2,875,719	3,171,767
仕掛品	1,333,661	1,340,231
原材料及び貯蔵品	2,393,705	2,595,664
その他	126,524	135,106
貸倒引当金	△16,350	△18,195
流動資産合計	22,994,407	23,623,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,038,034	2,026,887
窯炉、機械装置及び運搬具(純額)	1,627,880	1,620,406
土地	4,806,652	4,805,056
その他(純額)	659,457	960,716
有形固定資産合計	9,132,025	9,413,066
無形固定資産	65,884	63,571
投資その他の資産		
投資有価証券	7,363,009	7,418,149
その他	260,612	281,104
貸倒引当金	△75,345	△75,345
投資その他の資産合計	7,548,276	7,623,909
固定資産合計	16,746,185	17,100,547
資産合計	39,740,593	40,723,748

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,365,001	1,610,247
短期借入金	3,943,208	4,020,779
未払法人税等	512,764	392,588
賞与引当金	389,757	720,405
その他	780,384	1,003,962
流動負債合計	6,991,116	7,747,983
固定負債		
繰延税金負債	276,740	190,895
役員退職慰労引当金	708,169	717,693
退職給付に係る負債	1,489,575	1,519,228
その他	55,866	55,702
固定負債合計	2,530,352	2,483,521
負債合計	9,521,469	10,231,504
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,398,000	2,398,000
資本剰余金	2,462,007	2,462,007
利益剰余金	20,383,371	20,786,135
自己株式	△163,904	△163,929
株主資本合計	25,079,474	25,482,213
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,138,512	1,942,467
繰延ヘッジ損益	△7	—
為替換算調整勘定	△151,476	△154,387
その他の包括利益累計額合計	1,987,028	1,788,079
非支配株主持分	3,152,621	3,221,950
純資産合計	30,219,124	30,492,243
負債純資産合計	39,740,593	40,723,748

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	5,561,370	6,626,822
売上原価	3,906,741	4,625,203
売上総利益	1,654,628	2,001,619
販売費及び一般管理費	950,428	1,008,872
営業利益	704,200	992,747
営業外収益		
受取利息	1,361	1,254
受取配当金	75,662	86,864
為替差益	43,547	—
不動産賃貸料	19,274	19,348
その他	7,025	8,229
営業外収益合計	146,871	115,696
営業外費用		
支払利息	5,406	6,462
為替差損	—	16,778
不動産賃貸原価	3,041	3,182
その他	100	4
営業外費用合計	8,549	26,427
経常利益	842,522	1,082,015
特別利益		
固定資産売却益	356	104
特別利益合計	356	104
特別損失		
固定資産廃棄損	2,183	17,063
特別損失合計	2,183	17,063
税金等調整前四半期純利益	840,694	1,065,057
法人税等	243,291	309,962
四半期純利益	597,403	755,095
非支配株主に帰属する四半期純利益	66,936	129,197
親会社株主に帰属する四半期純利益	530,467	625,897

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	597,403	755,095
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	345,854	△195,480
繰延ヘッジ損益	△22	7
為替換算調整勘定	52,453	△6,026
その他の包括利益合計	398,285	△201,499
四半期包括利益	995,689	553,595
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	913,370	426,948
非支配株主に係る四半期包括利益	82,318	126,647

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント(耐火物関連事業)					その他 (注)	合計
	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,161,743	530,803	632,440	127,947	5,452,934	108,435	5,561,370
セグメント間の内部売上高又は振替高	707,082	—	18,957	975	727,014	222,444	949,459
計	4,868,825	530,803	651,398	128,922	6,179,949	330,879	6,510,829
セグメント利益又は損失(△)	646,936	△2,092	39,991	11,799	696,635	37,514	734,149

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連製品、窯業機械器具、建築、修繕、運輸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	696,635
「その他」の区分の利益	37,514
セグメント間取引消去	68,598
全社費用(注)	△98,548
四半期連結損益計算書の営業利益	704,200

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント(耐火物関連事業)					その他 (注)	合計
	日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,157,466	583,891	693,512	130,785	6,565,656	61,165	6,626,822
セグメント間の内部売上高又は振替高	740,371	—	32,620	6,742	779,734	283,680	1,063,415
計	5,897,838	583,891	726,132	137,528	7,345,391	344,846	7,690,238
セグメント利益又は損失(△)	997,875	25,788	100,924	△1,506	1,123,081	40,679	1,163,760

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連製品、窯業機械器具、建築、修繕、運輸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,123,081
「その他」の区分の利益	40,679
セグメント間取引消去	△59,001
全社費用(注)	△112,012
四半期連結損益計算書の営業利益	992,747

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。